

悠久の「川」、「人」、「自然」北加伊道 天塩國

# 天塩かわまちづくり検討会

## 観光振興ビジョン(素案)発表!

今後の検討会  
1月23日(金) 18時~  
2月25日(水) 18時~



第14回検討会 12月5日(金) / 社会福祉会館  
各分科会の取組について、ターゲットやスケジュールを示したビジョンの素案が発表されました。

これまで検討を重ねてきたアイデアを一つにまとめた『天塩町観光振興ビジョン』(素案)が発表されました。

その後、4つの分科会(食・歴史・自然・交流)に分かれ内容を確認し、今後の活動について話し合いました。



### 観光振興ビジョン(素案)で示された各分科会取組み事業 (一部)



#### 食チーム

- 1 天塩國の名産がぎゅっと詰まった「天塩國弁当」の商品開発
- 2 天塩川流域の特産品を一度に楽しめる「天塩川流域ピザ」の開発
- 3 食に関する活動グループ間の連携体制づくり



#### 自然チーム

- 1 自然観察ツアー
- 2 天塩にゆかりのある植物の植栽と観察者の誘致プロジェクト
- 3 縄文体験プロジェクト
- 4 松浦武四郎の業績を記念するカヌーイベント



各分科会とも仲間、募集中!!

※12月5日の検討会では、2名の新しい参加者を迎えました。今後の展開が楽しみです!



#### 歴史チーム

- 1 天塩川歴史資料館活性化プロジェクト
- 2 長門船観光舟運プロジェクト



#### 交流チーム

<交流拠点の改善>

- 1 道の駅の改善
- 2 鏡沼海浜公園・河川公園の改善

<情報発信の強化>

- 1 町内看板の改善
- 2 パンフレットのリニューアル
- 3 ホームページのリニューアル



次回検討会  
1月23日(金)  
18:00~20:00  
社会福祉会館  
分科会の見学も大歓迎です!!

検討会や分科会では、参加者募集中です。事務局までご連絡ください。

悠久の「川」、「人」、「自然」北加伊道 天塩國 — 検討会の観光コンセプト(キャッチフレーズ) 観光コンセプトや各分科会の取組みは、今後、天塩町の観光振興ビジョンづくりに反映していきます。

※北加伊道 天塩國

探検家・松浦武四郎が建白書で提案し採用されたのが『北加伊道』。一説では「加伊」とはアイヌ語でこの土地に生まれた者という意味です。また、『天塩國』は戊辰戦争終結直後に制定された地方区分の一つです。

事務局

天塩町役場 企画商工課 板宮(いたみや)

TEL: 01632-2-1001 (代表)  
FAX: 01632-2-2659 (2F)

実現目指して  
がんばろー!

新春

# 夢企画 201X年の天塩町観光!

2015年を迎え、検討会もいよいよ具体的な活動に！  
観光振興ビジョンは、地域振興につなげる観光を目指しています。  
201X年の天塩町の観光をガイドブック風にご紹介いたします。

## 先史時代から人を魅了! 天塩町を体験しましょう

縄文・開拓…脈々と受け継がれる歴史に豊かな自然と人情溢れる愛あ。  
利尻富士と夕陽の絶景を待つ間、ゆっくりと散策したい。

### 天塩町は こんなまち!

天塩川の下流域一帯は、いくつもの埋蔵遺跡が確認され、先史時代に既に安住の地として、古代民族の栄枯があったことが明らかに。また、明治の半ばからは水産業に加え、林業が栄え、明治30年代後半から40年代を天塩村時代と呼ばれた。ほどの隆盛を極めた。

天塩町では、これら背景に着目した『悠久の「川」、人、自然』北加伊道「天塩園」をコンセプトにした様々な体験・滞在型観光が楽しめる。

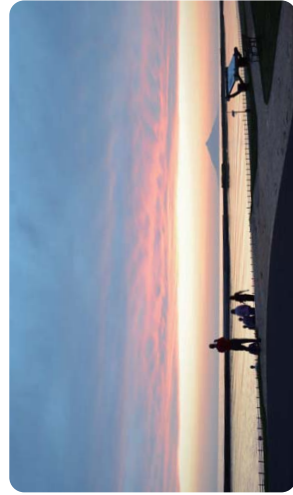
【アクセス】  
自動車/国道232号で留萌から115km。稚内から70km。  
バス/札幌から留萌駅で「特急はばる号」が4往復運行。要予約。  
沿岸バス TEL (0164) 62-1550。

### 鏡沼海浜公園 B

日本海を眺めるトレッキングも魅力

広さ約20ha、スズランをはじめハマナスやエンカンゾウなど50種類以上の花が咲く原生植物の宝庫。キャンプ場完備。

鏡沼海浜公園～天塩川河川公園～川口遺跡風景林はフットパスで結ばれ、徒歩はもろるホーストレッキング体験も可能。河川公園の一角にある慰霊碑前の展望スペースからは、天塩川越しに望む日本海と利尻富士、オートルイ風車群など、雄大な景色が広がる。特に、夕陽の時間帯は絶景。



▲日本海に沈む夕日は絶景。秀峰利尻富士や天塩川の自然と重なって一層の美しいロケーションを演出してくれる。(天塩川河川公園より撮影)

### 天塩川歴史資料館 A

過去から現在 一町の営みを感じるとる  
道庁赤レンガ庁舎を思わせる貴重な歴史的建築物。江戸時代北前船の港として開かれ、道北開拓の拠点として発展してきた天塩町の歩みが鮮やかに蘇る。

また、展示スペースの一角では、町民による企画展や催しなどが活発におこなわれており、現在の町の暮らしなども垣間見ることができ。  
(休館日:月曜日、時期5月～10月 10時～17時)



天塩川歴史資料館



▲公園内には、原生植物や野鳥観察のほか、キャンプ場が完備され、バーベキューハウスで新鮮な地場の食材を手ぶらで楽しめる!



▼天塩町には100種類を超える野鳥が確認されており、ハーンドウオッチングに最高のロケーション!自然観察ツアーあり。(写真:オオセキイ)



### みのがせはない!

町民が進める長門船復元模型プロジェクト  
長門船は天塩が漁業・林業で繁栄した際に天塩川上下流をつなぐため使われていた木造運搬船。現在、町民が長門船復元模型を製作中。過程は天塩川歴史資料館で見ることができ。

### 川口遺跡風景林 C

先史時代を偲び、暮らし体験も幅200m、長さ1.5kmにわたる30基の竪穴住居群が分布する。当時の暮らしを伝える貴重な文化遺産。遺跡周辺に遊歩道が整備され復元された住居もあり、縄文時代を体験できる。町民による縄文土器製作や料理体験、竪穴式住居復元プロジェクトにも参加できる。

### カヌーイベント D

武四郎の足跡を辿る川上り  
天塩川は堰のないコースとしては日本一長く、カヌー愛好家の憧れの場。ユニークなのは、北海道探検で有名な松浦武四郎の足跡を辿る川上りイベント。日本海からの風を受けゆつくりと進むうち、連日と進められ、奥の岬の姿を目にするかも。



### あんせんはこちら!

てしお温泉夕映 E  
夕日とともに湯に浸かる贅沢  
温泉に入れて夕日も望める施設として人気。道の駅とならび町の情報発信の場として活用されている。宿泊も可。



### 道の駅 てしお F

まずは赤美の情報コーナーへ  
国道232号線、まちの入り口に位置する道の駅は、稚内への旅行者の貴重な休息場で、天塩の魅力やコトバに垣間見ることができ。幻の魚"イトグ"に会えるほか、人気のご当地グルメ、特産品、おみやげコーナーなども充実。休日には地場で採れた特産品満載のトラック市が開催される。天塩川歴史資料館と合わせて見たい。



### おすすめグルメ!

### 天塩園弁当・ご当地ピザ

海・川・山の幸が季節毎に奏でるハーモニ  
地元の食材の良さを知り尽くした町民が開発に携わり完成したご当地グルメ。温泉施設夕岬や道の駅その他で、地元食材の使用をルールとして、さらに工夫を凝らしたそれぞれの味が楽しめる。



ガイドブックの内容は  
現時点では、あくまでも  
フィクションです!

